

新開発のフルバランス・ディスクリートアンプ搭載のバランス対応ヘッドホンアンプが「CLASS-S」にラインアップ

バランス対応ポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX01」を発売

～当社「CLASS-S」ヘッドホンに対応する専用バランスケーブル 3モデルも同時発売～



株式会社 JVCケンウッドは、JVCブランドより、バランス接続に対応したハイグレードなポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX01」を11月上旬より発売します。

本機は、新たにフルバランス構成のアナログ回路や当社独自のハイスピード電流帰還ディスクリートアンプを搭載するなど、当社独自のさまざまな高音質化技術を投入。緻密で力強い音質と自然な空間表現を実現しました。また、本機とのバランス接続に対応したヘッドホンケーブル3モデルも同時発売。こだわりの高音質と上質な価値を提供するハイクラスヘッドホンシリーズ「CLASS-S」第三弾として、当社「CLASS-S」ヘッドホンの音質をバランス接続により最大限に引き出す環境を提案します。

* 当社は、日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に「Hi-Res AUDIO」ロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

品名	型名	希望小売価格(税抜き)	発売時期
ポータブルヘッドホンアンプ	SU-AX01	オープン価格	11月上旬
ヘッドホンケーブル	CN-HY01MB(両出しタイプ)		
	CN-HS01MB(片出しタイプ)		
	CN-HM01MB(MMCX端子)		

■ バランス対応ポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX01」

<主な特長>

1. フルバランス構成のアナログ回路を搭載し、高い解像度と自然な空間表現を実現するバランス接続に対応 (詳細は3ページの「本機のバランス接続について」参照)

DAC以降のアナログ回路をフルバランス構成とすることで、高い解像度と自然な空間表現を実現しました。さらに、フルバランス構成のメリットを高めるために、ボリュームには、高精度電子ボリュームを採用するとともに、L/R独立で搭載。L/R独立電源と、L/R独立ヘッドホンジャックも採用し、音のセパレーションを向上させ、正確な音像定位を実現しています。



<SU-AX01>

2. 緻密で力強い音質を実現する新開発のハイスピード電流帰還ディスクリートアンプを搭載

ヘッドホンアンプ部は、当社独自のハイスピード電流帰還アンプを搭載。出力段を大型パッケージの大電流トランジスタを使用した強力なディスクリート構成とすることで、緻密で力強い音質を実現するとともに、大型ヘッドホンにも対応しました。

3. 新開発のハイインテンシティモードにより、外部給電時のさらなる高音質化を実現

外部電源接続時に専用電源に切り替える新開発のハイインテンシティモードを搭載。微小な音楽信号の再現性を向上させ、音楽をより繊細かつ鮮明に表現することが可能です。

* 十分な給電が必要なため、iPad対応の2.1A(2.4A)アダプター(市販品)使用時にのみ自動で切り替わります。

4. さまざまな再生機器とデジタル接続ができる、多彩な入カインターフェイスを搭載

4系統のデジタル入力端子(iPod、USB(PC、Android™搭載機器など)、同軸デジタル、光デジタル)を装備し、さまざまな再生機器とのデジタル接続を可能にしました。また、1系統を備えたアナログ入力も、本機内部でバランス変換することにより、高品位に対応します。

5. DSD™ 11.2MHz、PCM(384kHz/32bit)*1などのハイレゾ音源に幅広く対応

DSD™ 11.2MHz、PCM(384kHz/32bit)*1に対応することで、ハイスpekク化が進むハイレゾコンテンツに幅広く対応します。また、フォーマットの差を明確に描写し、ソースの情報量を余すところなく再現します。

※1: 同軸デジタル、光デジタル接続時は、PCM(最大192kHz/24bit)のみ対応。

6. クリアな音質を実現する、デジタル/アナログセパレート基板を採用

デジタル回路とアナログ回路をそれぞれ専用の基板に分離したデジタル/アナログセパレート基板を採用。各基板内で理想的な回路ブロックを構成するとともに、相互干渉を低減し、クリアな音質を実現しています。

7. 新開発のアドバンスドフローティング構造を採用し、安定した高音質を実現

回路基板をシャーシに固定した上でボディから浮かせる当社独自のフローティング構造を進化させ、ボディとシャーシの接触部分をさらに少なくした新開発のアドバンスドフローティング構造を採用。外部振動の影響を低減し、さまざまな使用環境において安定した高音質を実現します。

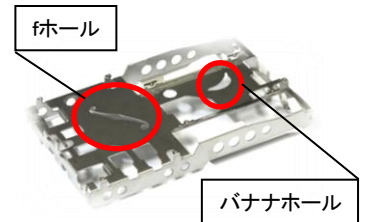


< アドバンスドフローティング構造 >

8. 新開発のfホールシャーシプラスを採用し、芯のある力強いサウンドと艶のある伸びやかな音を両立

当社比^{※2}1.5倍厚の非磁性ステンレス素材を使用した高剛性シャーシに、従来のfホールに加えバナナホールを配置した新開発のfホールシャーシプラスを採用。高剛性シャーシにしなやかさを付加し、芯のある力強いサウンドと艶のある伸びやかな音を両立します。

※2: 当社ポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX7」(2014年5月発売)と比較した場合



< fホールシャーシプラス >

9. 携帯使用時の使い勝手を考慮した端子レイアウトを採用

携帯使用時の使い勝手を考慮し、前面にUSB端子とヘッドホン端子を配置した端子レイアウトを採用しています。

10. さまざまな音源を、マスター音源のクオリティに近づける New「K2 TECHNOLOGY」を搭載

音楽信号に対し、ビット拡張、周波数帯域拡張、波形補正を行い、非ハイレゾ音源をハイレゾ化するとともに、ハイレゾ音源もより高音質化してマスター音源のクオリティに近づける、当社独自の高音質化技術 New「K2 TECHNOLOGY」を搭載。



■ バランス対応ヘッドホンケーブル(3モデル)

< 3モデル共通の主な特長 >

1. 本機「SU-AX01」とのバランス接続に対応、当社「CLASS-S」ヘッドホンのタイプに応じた3モデルをラインアップ
本機「SU-AX01」との、バランス接続に対応し、高解像度と自然な空間表現を可能にする専用ケーブルです。当社の「CLASS-S」各ヘッドホンのタイプに対応する両出しタイプ用(「CN-HY01MB」)、片出しタイプ用(「CN-HS01MB」)、MMCX端子用(「CN-HM01MB」)の3モデルをラインアップしました。

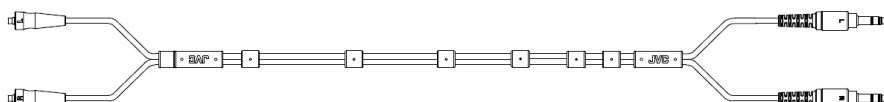
【対応表】

	対応ヘッドホン
「CN-HY01MB」 (両出しタイプ)	ステレオヘッドホン「WOOD 01 (HA-SW01)」 「WOOD 02 (HA-SW02)」
「CN-HS01MB」 (片出しタイプ)	ステレオヘッドホン「SIGNA 01 (HA-SS01)」 「SIGNA 02 (HA-SS02)」
「CN-HM01MB」 (MMCX 端子)	インナーイヤードヘッドホン「WOOD01inner (HA-FW01)」 「WOOD02inner (HA-FW02)」 「HA-FX1100」 「HA-FX 850」

2. 持ち運び時に絡みにくく、タッチノイズを軽減する布巻きケーブルを採用

< 「CN-HM01MB」のみの主な特長 >

1. HOT、GOLDだけでなく、GNDも活用した芯線構造によりクリア感をアップ
2. 高純度無酸素銅 6N(99.9999%) OFC ケーブルを採用
3. 独自のユニカル・レングス・インシュレーターによりクリア感を向上
2本のケーブルを束ねているインシュレーターの間隔を不等長にすることで、振動の影響による音のにごりを低減しクリア感を向上しています。



< ユニカル・レングス・インシュレーター >

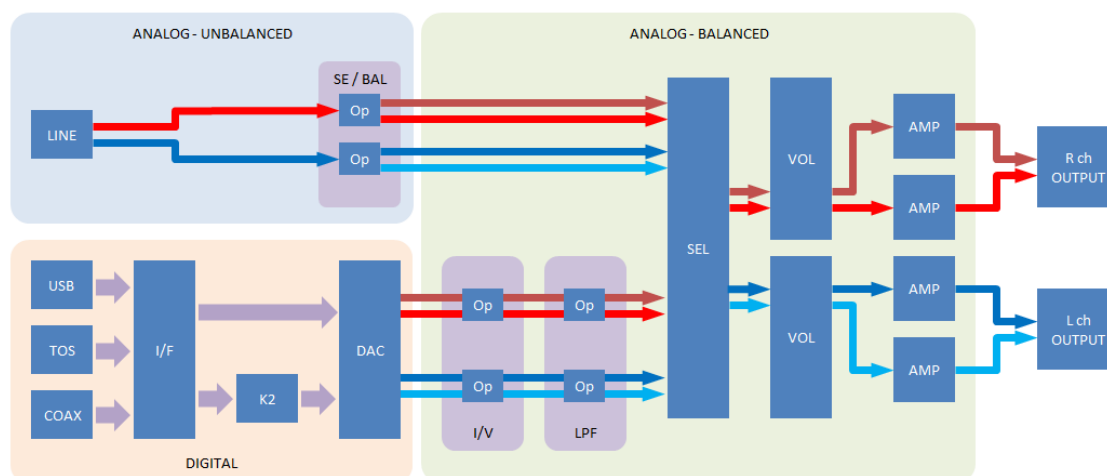
<企画意図>

ハイレゾ音源の普及などに伴い、より高音質にヘッドホンリスニングを楽しみたいというニーズが高まっており、ポータブルヘッドホンアンプを導入し、こだわりの高音質を追求するユーザーが増加しています。そのような背景のなか、当社が発売中のポータブルヘッドホンアンプ「SU-AX7」(2014年5月)も、New「K2 TECHNOLOGY」による高音質再生や多様な機器との接続性で好評を得ていますが、ユーザーからは、「よりハイスペックなハイレゾ音源に対応してほしい」「接続にも、もっとこだわりたい」という声も寄せられていました。

そこで今回当社は、DSD™ 11.2MHz などのハイスペックなハイレゾ音源への幅広い対応に加え、多彩なデジタル接続に対応するとともにバランス接続に対応したハイグレードモデル「SU-AX01」を開発しました。新開発のハイスピード電流帰還ディスクリートアンプやフルバランス構成のアナログ回路に加え、当社独自のさまざまな高音質化技術を投入し、当社の「CLASS-S」シリーズをはじめバランス接続に対応するヘッドホンを、より高音質に再生することができます。また同時に、「CLASS-S」各ヘッドホンのタイプに応じたバランス対応ケーブルも同時発売。さらに、据え置き使用時の新たな提案として、外部電源接続時にさらなる高音質化を実現する、新開発のハイインテンシティモードを搭載。ヘッドホンの持つポテンシャルを最大限に引き出し、より高音質に楽しむための最適な環境を提供します。

<本機のバランス接続について>

バランス接続は、ヘッドホンとアンプを左右チャンネルに2芯ずつ計4芯のケーブルで接続します。通常のアンバランス接続では3芯を使用し、1芯を左右のチャンネルで共用していますが、バランス接続ではこの共用している芯線がないため、左右の音の混濁が低減され、音像の定位が明確となる効果があります。本機では、アナログ回路をフルバランス構成とすることや、L/R独立電子ボリューム、L/R独立電源、L/R独立ヘッドホン端子などを採用することにより、バランス接続のメリットをより高めています。



< フルバランス構成イメージ >

<「SU-AX01」の主な仕様>

型名	「SU-AX01」
実用最大出力	100mW + 100mW: バランス接続 16Ω 10%歪み 220mW + 220mW: バランス接続 32Ω 10%歪み 100mW + 100mW: ノーマル接続 16Ω 10%歪み 160mW + 160mW: ノーマル接続 32Ω 10%歪み
周波数特性(LINE 入力)	10Hz ~ 100kHz
D/A コンバーター	ES9018K2M
ヘッドホン端子	ステレオミニ(φ3.5mm) x 2、8Ω ~ 600Ω
入力端子	iPod/iPhone/iPad 接続用端子: USB A 端子 パソコン接続用端子(USB Audio 入力): USB マイクロ B 端子 DC IN 端子(充電): USB マイクロ B 端子 OPTICAL 入力端子: 角型光端子 COAXIAL 入力端子: RCA ピンジャック LINE 入力端子: ステレオミニ(φ3.5mm) x 1

電源	内蔵リチウムイオンバッテリー
電池持続時間	アナログ接続時：約 5.5 時間 ^{※3} デジタル接続時：約 5 時間 ^{※3}
充電時間	約 5 時間 ^{※3}
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	80.4mm × 28.5mm × 153.5mm
質量	400g
付属品	充電用マイクロ USB ケーブル、ノイズフィルター

※3: USB 変換 AC アダプター(2.1A、市販品別売)使用時。充電時間は使用条件により変わります。

<「CN-HY01MB」「CN-HS01MB」「CN-HM01MB」の主な仕様>

型名	「CN-HY01MB」 (両出しタイプ)	「CN-HS01MB」 (片出しタイプ)	「CN-HM01MB」 (MMCX 端子)
ケーブル	1.8m OFC	1.8m OFC	1.2m 6N OFC
入力プラグ	φ3.5mm ステレオミニ × 2		
出力プラグ	φ3.5mm ステレオミニ(3極) × 2	φ3.5mm ステレオミニ(4極) × 1	MMCX × 2



< CN-HY01MB >

< CN-HS01MB >

< CN-HM01MB >

<商標について>

- 「Hi-Res AUDIO」ロゴは、(社)日本オーディオ協会の登録商標です。
- “Made for iPod”、“Made for iPhone”、“Made for iPad”とは、それぞれ iPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple inc.の商標または登録商標です。
- 「Android™」および「AndroidTM ロゴ」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- DSD™ はソニー株式会社の商標または、登録商標です。
- 「S/CLASS-S(ロゴ)」、「K2 TECHNOLOGY(ロゴ)」は株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVCケンウッド 企業コミュニケーション統括部 広報・IR・SR 部
TEL : 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

【お客様窓口】 JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
TEL : 0120-2727-87(固定電話からはフリーダイヤル) /
0570-010-114(携帯・PHS からはナビダイヤル) / 045-450-8950(一部 IP 電話)

本資料の内容は報道発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

JVCKENWOOD
creates excitement & peace of mind

※ 株式会社JVCケンウッド、日本ビクター株式会社、株式会社ケンウッド、J&Kカーエレクトロニクス株式会社の4社は2011年10月1日をもって合併し、株式会社JVCケンウッドとなりました。

www.jvckenwood.com